

【先端理工学部について】

本学は理工学部を改組し、2020年4月に先端理工学部(所在地:瀬田キャンパス(滋賀県大津市))を開設いたしました。

先端理工学部では主たる分野の専門性を担保しながら、他分野を副専攻のように学修するシステムとして、これまでの「学科」制度から「課程」制度を国内の理工系学部として初めて導入、関連する複数の科目をパッケージし、変化する社会課題に対応した「プログラム」を設け学生の多様な興味・関心に沿った技術・知識の習得を目指します。柔軟なカリキュラムを実現するため、クォーター制度を導入、現行セメスター制度と併用し短期間での集中的な学びを可能としています。

【先端理工学部の新たな教育環境整備】

学部開設に伴い、施設設備の整備を実施いたしました。

- ①キャンパスのオープンエリアにグループ利用可能な活動スペース(サテライト)を複数設置。サテライトは外からも見える造りで、活動状況を「可視化」し、学生同士が刺激しあえる環境になっています。



- ②BYOD対応の学生自習設備の整備。

「先端理工学部 先端情報処理教育環境」として、先端理工学部の実習室を10月1日リニューアル。学部専用の計算機実習室という従来の役割に加えて、BYOD(Bring your own device)対応の自習室として利用しやすい環境を整えました。



以上